



平成25年3月28日

リコール製品を使い続けると火災が発生する恐れがあります！

～ 使用している製品のリコールの有無をご確認ください ～

東京消防庁では、リコールであることを知らずに使用し続けて出火した火災が発生していることから、使用中の製品がリコール製品に該当していないかの確認を呼びかけています。

平成25年2月8日に長崎県で発生したグループホームの火災では、火元がリコール対象品の加湿器である可能性が高いことが報道されています。

製品に何らかの不具合があった場合に、製造・輸入事業者が交換・点検・修理等を行うことを「リコール」と言います。リコールが行われた製品の中には、使用を続けると出火する危険性があるものもあります。

しかし、使用者の多くは、リコールが行われたことを知らずにそのまま使用しています。

当庁管内においても、使用している製品がリコールになったことに気付かず、そのまま使用したために出火する火災が発生しています。初期消火の際にケガをしたり、発見が遅れて延焼拡大した火災も発生しており、注意が必要です。

【火災を防ぐために】

- 1 新聞や広告等でリコール社告を見た場合は、該当商品を持っていないかを確認してください。
- 2 現在使用している製品についてリコールの有無を確認してください。取扱説明書に記載されているメーカー、販売店等への問合せや、製造・輸入業者や消費者庁のホームページでご確認ください。
- 3 **リコール対象品をお持ちの場合には、すぐに使用を中止し、交換、点検、修理等の内容をご確認ください。**

問合せ先

東京消防庁 (代) 電話 3212-2111
予防部調査課 内線 5062 5042
広報課報道係 内線 2345～2350



【別表】

社告品等から出火した火災の過去5年間の年別発生状況

年 別	火 災 件 数						損 害 状 況			
	合 計	建 物			車 両	そ の 他	焼 損 床 面 積 (㎡)	焼 損 表 面 積 (㎡)	死 者 (人)	負 傷 者 (人)
		小 計	部 分 焼 や	ぼ や						
平成 20 年	29	29	7	22	-	-	30	20	-	4
平成 21 年	22	20	5	15	2	-	17	16	-	1
平成 22 年	18	17	2	15	1	-	1	2	-	-
平成 23 年	28	27	5	22	1	-	23	5	-	5
平成 24 年	23	22	4	18	-	1	7	2	-	3
5 年 平 均	24	23	5	18	1	-	16	9	-	3
前 年 比 較	▼5	▼5	▼1	▼4	▼1	1	▼16	▼3	-	▼2
5 年 平 均 比 較	▼1	▼1	▼1	-	▼1	1	▼9	▼7	-	-

注) 比較欄は前年及び5年平均との増減を示したもので、▼印は減少を示しています。

【社告品等からの火災状況】

ここでいう「社告品等」とは、製造会社等が新聞等の各種広報媒体を通じて、消費者に対し、火災発生の恐れがある旨の社告を実施している製品をいい、リコール製品も含まれます。

平成24年中の火災を製品別にみると、「電気クッキングヒータ」が5件、「電気冷蔵庫」、「電子レンジ」、「冷暖房機」が各3件などとなり、平成24年中の「社告品等」から出火した火災は、全てが電気設備機器によるものです。

【火災事例1】

「リコールが行われている洗濯機が原因で出火した火災」

出火場所 品川区

出火時分 平成24年12月 15時ごろ

用途等 学校 耐火造3/1 延2,504㎡

被害状況 地下1階機械室内の内壁若干及び洗濯機1等を焼損（ぼや）

火災概要

この火災は、学校の地下1階の機械室から出火したものです。自動火災報知設備のベルが鳴動したため、表示のあった地下1階機械室を確認すると、洗濯機から炎が上がっているのを発見しました。洗濯機は使用中でした。

出火原因は、洗濯機内のコンデンサに製造時の不具合があったため、当該コンデンサ内で短絡を起こして発熱し出火に至ったもので、リコールと同様の不具合により、出火していました。

●出火原因となった洗濯機について

輸入、販売会社：三洋ハイアール株式会社

機種・型式：HSW-50S3

製造・販売期間：平成16年10月～平成18年5月

製造・販売台数：82, 887台

問合せ先：ハイアールジャパン株式会社 0120-865-123

ホームページ：<http://www.haierjapan.com/index.html>



【火災事例2】

「リコールが行われているオープンレンジが原因で出火した火災」

出火場所 江東区

出火時分 平成25年1月 11時ごろ

用途等 共同住宅 耐火造 17/0 延 9,322 m²

被害状況 オープンレンジ1を焼損（ぼや）

火災概要

この火災は、共同住宅の17階台所から出火したものです。台所に置かれたオープンレンジ庫内に餅を入れて加熱していたところ、1分後に異音と焦げ臭い匂いがしたため確認するとオープンレンジの側面が赤くなっているのを発見しました。

出火原因は、オープンレンジ内の配線接続部において製造時の不具合があったため、接触不良個所が発熱し出火に至ったもので、リコールと同様の不具合により、出火していました。

●出火原因となったオープンレンジについて

製造会社：三洋電機株式会社

機種・型式：EMO-CH4

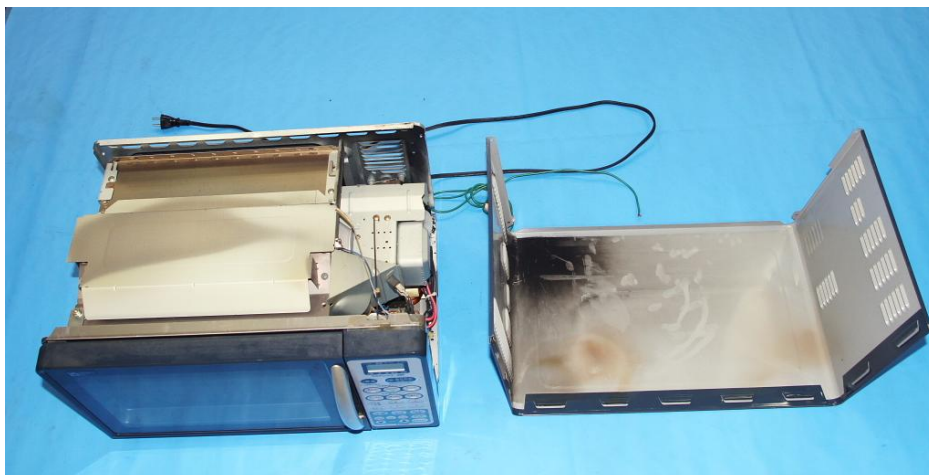
製造・販売期間：平成12年10月～平成13年10月

製造・販売台数：45,000台

問合せ先：三洋電機株式会社 0120-34-1105

ホームページ

http://panasonic.co.jp/sanyo/info/products_safety/080711.html



【火災事例3】

「製品交換プログラムにより交換が行われている携帯型音楽プレーヤーが原因で出火した火災」

出火場所 台東区
出火時分 平成25年2月 18時ごろ
用途等 事務所併用住宅 防火造3/0 延288㎡
被害状況 建物ぼや 内壁若干 その他収容物を焼損
火災概要

この火災は、事務所併用住宅の1階事務室から出火したものです。

出火当日、携帯型音楽プレーヤーの充電を12時ごろから開始して外出しました。18時頃に2階住宅部分の居住者が異臭に気づき、1階事務室内を確認したところ、携帯型音楽プレーヤー付近から炎が上がっているのを発見しました。

出火原因は、携帯型音楽プレーヤーに内蔵されているバッテリーに製造時の不具合があったため、充放電を繰り返すうちにセル内部の絶縁が劣化し、バッテリー内部において短絡を起こして過熱したもので、公表されている内容と同様の不具合により、火災となりました。

●出火原因となった携帯型音楽プレーヤーについて

輸入会社：有限会社アップルジャパンホールディングス

機種・型式：iPod nano（第一世代）

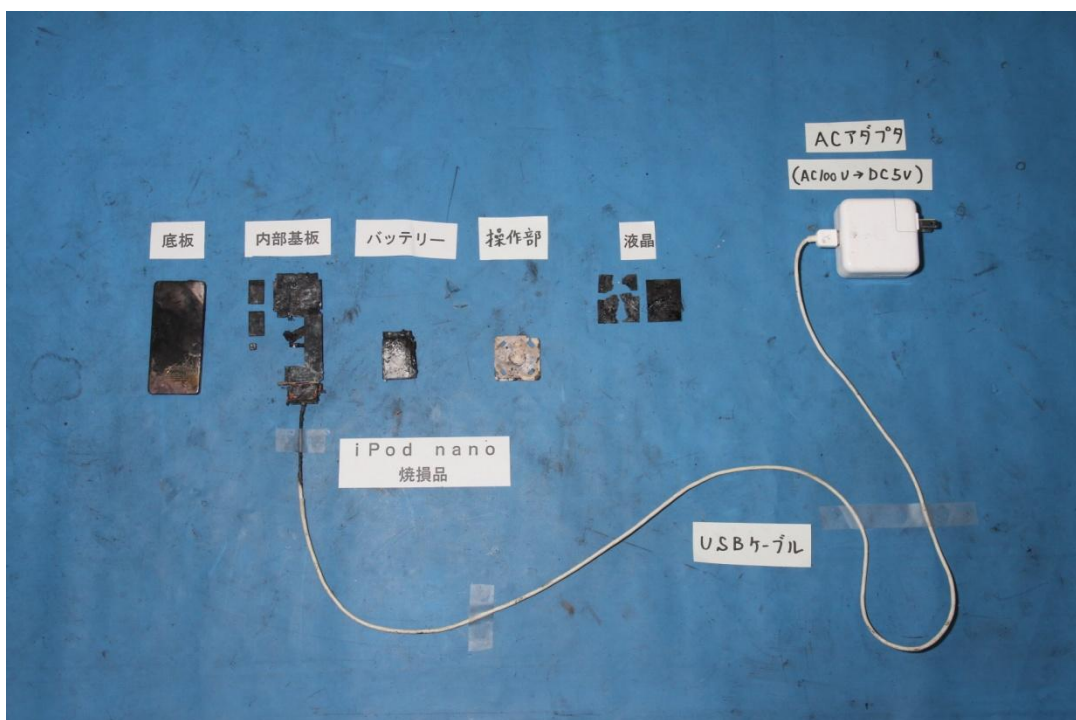
製造・販売期間：平成17年9月～平成18年9月

製造・販売台数：1,812,000台

問合せ先：Apple Japan合同会社 0120-27753-5

ホームページ

http://www.apple.com/jp/support/ipodnano_replacement



【火災事例4】

「リコールが行われている空気清浄機が原因で出火した火災」

出火場所 目黒区
出火時分 平成25年2月 4時ごろ
用途等 共同住宅 防火造2/0 延50㎡
被害状況 建物部分焼 内壁2㎡若干
火災による傷者1人（中等症）

火災概要

この火災は、共同住宅の2階居室内から出火したものです。

就寝中に目を覚ますと、窓際において使用している空気清浄機が燃えているのを発見しました。洗面器に水を汲み、初期消火を行いましたが消すことができず、この時に熱傷を負っています。

出火原因は、空気清浄機の電流ヒューズの定格容量が不適切であったため、電源回路における不具合により過電流が流れ続けて過熱し出火したもので、リコールと同様の不具合により、出火していました。

●出火原因となった空気清浄機について

輸入会社：株式会社オーム電機

機種・型式：AP-510H

製造・販売期間：平成19年11月～平成20年7月

対象ロット記号番号

D71012、D71211、D80116、D80215、D80227、
D80401、D80507

製造・販売台数：25,800台

問合せ先：株式会社オーム電機 0120-963-006

ホームページ：<http://www.ohm-electric.co.jp>

